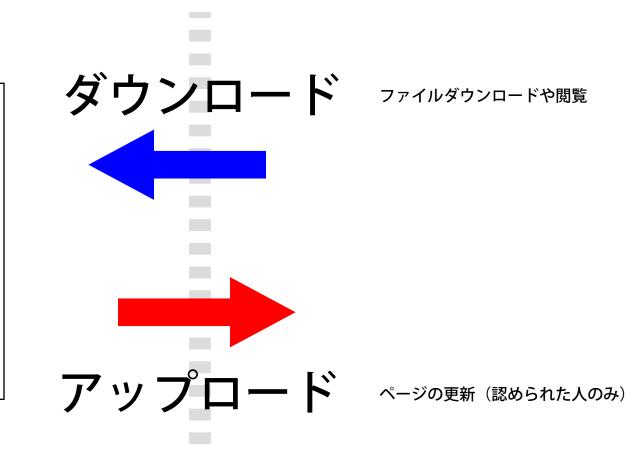
## ローカル

リモート

●ウェブサイトの場合(一回きりのお付き合い)

PC

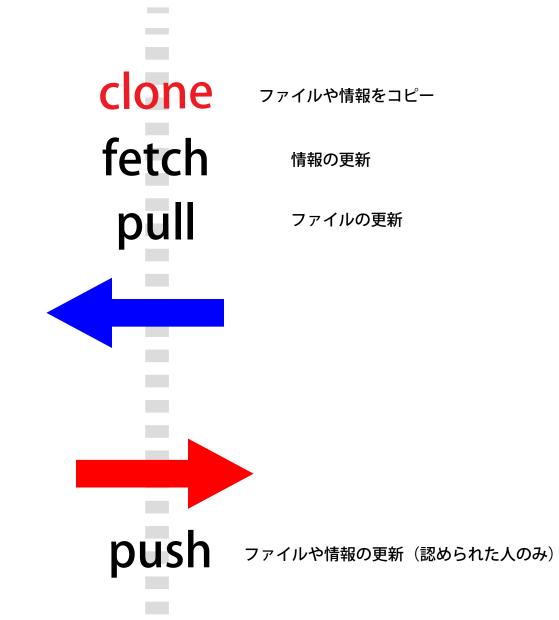
ブラウザ Chrome Safari Edge



サーバー

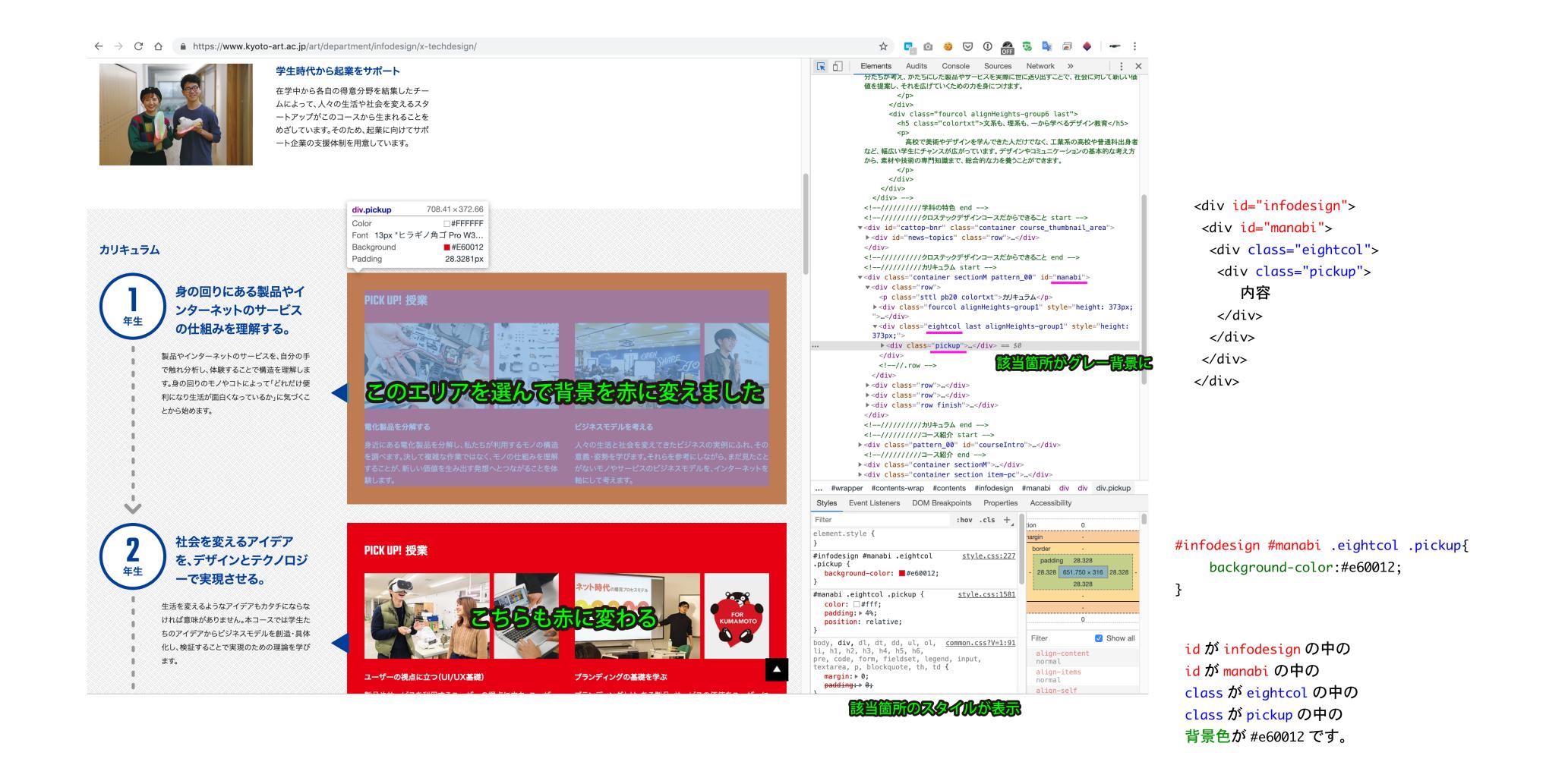
●Git の場合(永続的なお付き合い)

PC ローカルリポジトリ git クライアント
GitHubDesktop
SourceTree



GitHub

リモートリポジトリ



HTML の特定の部分を選んで、その特定の部分に当たっているスタイル(CSS)を書き換えた。

```
セレクタ {
                  どこの(セレクタ)
 プロパティ:値;
                  何を(プロパティ)どうするか(値)
 プロパティ:値;
例
                           訳
                                              意味
                                              ヘディング1の
                           ヘディング1{
h1{
                                               背景色を赤にする、
                            背景色:赤;
 background-color:rgb(255,0,0);
                            文字色:緑;
                                               文字色を緑にする、
 color:rgb(0,255,0);
```

## /sample/sample03.html

- 1. ブラウザで表示を確認
- 2.txt クラスを選んで CSS で文字色を変えてみる。
- 3.h1 に class="txt" をつけてみる。
- 4. big\_txt クラスを好きなタグに付与。

```
h1{
  background-color:rgb(255,0,0);
.contents{
  color:rgb(255,0,0);
#tesuto{
  color:rgb(0,0,255);
.txt{
  color:rgb(0,255,0);
.big_txt{
  font-size:60px;
```

## <a href="https://google.com" target="\_blank"> リンケ </a>

このようにタグには ○○○="□□□" という形で情報を入れることができます。これを属性(アトリビュート)と言います。 入れられる属性はタグによって変わりますが、

class と id は(ほぼ)全てのタグに入れられます。



これは色々な用途がありますが今の所は CSS スタイルの適応範囲指定のために使います。

CSS 上では id="kyoto" の要素は #kyoto class="prefecture" の要素は .prefecture と表せます。

## Bootstrap では

前ページ 3,4 でやったように CSS を変えずにタグの class を変更する方法でページを構築することができます。